

三浦 綾子 作

朗読と紙芝居

泥流地帯

「僕は断じて、あの土地は枯木ではないと信じている」

紙芝居「十勝岳噴火の思い出」

朗読 佐川 泰正 絵 井上 文雄
演奏 嵯峨 治彦 (喉歌・馬頭琴奏者)

朗読「泥流地帯」「続泥流地帯」

朗読 栗山 博 鈴ヶ森 雅之進 関口 淳子
中島 真智子 成田 英行 林 浩子
宮下 郁子 (構成・演出)

2024年5月12日(日)

午前の部 開演 11:00(開場10:30)

午後の部 開演 15:00(開場14:30)

渡辺淳一文学館

TEL:011-551-1282

札幌市中央区南12条西6丁目414

入場料 2,500円
(要予約)

馬頭琴・喉歌 嵯峨 治彦(さが はるひこ)



師と仰ぐゴビの遊牧民馬頭琴奏者Y. ネルグイ(モンゴル国無形文化財)から後継指名を受け伝統音楽の継承に取り組み一方、RAUMA(w/あらひろこ[カンテレ])、タルバガン(w/等々力政彦[トゥバ音楽])、野花南(w/嵯峨孝子)などの音楽ユニットで活動。また朗読・演劇・舞踏・ダンスなど異ジャンルとの共演も多い。「駱駝の瘤にまたがって/木村功」をはじめとする渡辺淳一文学館ドラマティックライブシリーズにも多数出演。

「馬頭琴」…モンゴルの伝統楽器。馬の尾を束ねた2本の弦を弓で弾く「草原のチェロ」。馬頭琴誕生の伝説は絵本「スーホの白い馬」で日本でも広く知られている。

「喉歌」…モンゴルの「ホーミー」などの声の倍音を口腔内で共鳴させて同時に複数の音を発する歌唱法。一人二重唱、倍音唱法とも。

朗読 佐川 泰正(さがわ やすまさ)



北海道工業大学(現北海道科学大学)建築工学科卒。㈱佐川建設代表取締役、かみふらのフットバス愛好会(現ふらのフットバス協会)会長、NPO法人環境ボランティア野山人理事長、元上富良野町商工会会長、北海道科学大学客員教授。一級建築士、宅建士。2011年、北海道工業大学「雪嶺賞」受賞。泥流地帯映画化を進める会アドバイザー。全道フットバスの集い2回、全道フットバスフォーラム1回主催。

絵 井上 文雄(いのうえ ふみお)



自衛官定年後、NPO法人環境ボランティア野山人で活動し、地域の歴史やアイヌ民話を描き紙芝居で伝承に取り組んでいる。

他に上富良野十勝岳山岳会、保護司、十勝岳ジオパークガイドで活動中。

朗読 栗山 博(くりやま ひろし)



元公立高等学校国語科教師。市立図書館や道立文学館などの朗読イベントの他、地域FMラジオ朗読などに出演。現在、私立とわの森三愛高等学校にて非常勤講師。ドラマチック・リーディング・グループ『蔵』、なかま『鍵』、ドラマチック・リーディング・グループくさく・ら所属。2022年11月より、朗読会「あしたのためのglobe座」を主宰。2022年より渡辺淳一文学館主催朗読講座「みんなの朗読」講師(現在第5期)。

朗読 関口 淳子(せきぐち じゅんこ)



2008年ドラマチック・リーディング・グループ「蔵」結成、同代表。「源氏」千年紀を記念して「女人源氏物語」朗読会開催。札幌市中央図書館「ろうどくの小径」、チャリティー朗読会「連声」、ミステリー朗読会「鍵」などを開催。2019年まで渡辺淳一文学館主催朗読会「花咲」にレギュラー出演。北海道立文学館主催「北の響」継続出演中。2017年秋、北の響アート特別賞<ハルニレ賞>(文化塾サッポロ・アートラボSALA主催)受賞。

朗読 中島 真智子(なかじま まちこ)



渡辺淳一文学館主催朗読講座「名作を朗読しましょう」「ろうどく紀行」受講生。朗読会「しだれWillow」出演。

朗読 成田 英行(なりた ひでゆき)



渡辺淳一文学館主催朗読講座「名作を朗読しましょう」受講生

朗読 林 浩子(はやし ひろこ)



2019年2月より、朗読会「しだれWillow」主宰。朗読を通して地域の皆さんとの交流を図る目的でレストランを会場とし年3回開催中、現在15回を迎える。

構成・演出 宮下 郁子(みやした いくこ)



札幌、道内各地の他、京都平等院、東本願寺、清涼寺、東福寺、金剛能楽堂、カナダバンクーバー、東京矢来能楽堂等で朗読出演。古典の日推進委員会朗読コンテスト大賞、同京都府知事賞等受賞。元札幌医科大学保健医療学部特別講師。渡辺淳一文学館主催朗読講座「名作を朗読しましょう」講師。

【ご予約・お問合せ】

□渡辺淳一文学館 TEL: 011-551-1282

月曜休館 但し、祝日の場合は翌平日休館

受付: 4~10月 9:30~18:00 / 11~3月 9:30~17:30

Mail: info.watanabe.bungaku@ac.auone-net.jp

HP: http://watanabe-museum.com/

駐車場のご用意はございません。公共交通機関か近隣の駐車場をご利用ください。

